

滝は見れなくとも紅葉を愛でる
川苔山

実施日 2020年10月31日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 瀧澤 きよの
 参加者 石附智江、中村友子、伊藤久雄、瀧澤きよの、峯川弘子、宮崎敏男 計6名
 費用 JR1,150円(立川起算)
 タイム 鳩ノ巣(8:42~9:02)大根山の神(9:48)川苔山(12:40~13:05)曲谷北峰(13:15)桃ノ木平(14:17)赤杭山(14:45)ズマド山(15:30)川井駅(16:52)

鳩ノ巣駅前で車で来たMさんと会い、駐車場に車移動後、駅前コースを歩き民家の左階段から歩き始める。

良く整備されたハイキング道を大根山の神の立派な祠前に着く。

大勢の登山者10名以上、真ん中のハイキング道を行くらしい。コロナ対策で、沢コースに変更、50m位下



り階段を上って沢コースへ、これなら密にならず、貸し切りです。ゆるりと巻き道で、沢を2回渡

して、とても歩き安い。船井戸からようやく、曲谷北峰の前、左は赤愚山ルートです。防火滞の直登コ-スを

胸突き八丁、草付き落ち葉でどこでも道、つづら折りで登ります。ご褒美のリンドウが咲いてます。



右方向、急登登りで川苔山山頂は程良い込みで、記念写真を撮り、奥多摩の全方位の景色を堪能して食べ

るご飯は格別です。山頂を下り、曲谷北峰を左、瘦せ尾根、落ち葉急登を貸し切りで降ります。コンクリート土砂崩れ防止止めを何回か超え要約、エビ小屋山を見送り、コアジサイの黄色の見事な紅葉を愛でて、作業道に出て、桃ノ木平の稜線へ両Iさん二人は作業道をいきます。地味な桃ノ木平はピ-クです。



写真を撮り、二人と合流。アップダウン繰り返しで赤杭山、平らなピ-ク山頂はここか草むらの中、地味にひ

っそりと、立派な標識です。写真撮り、アップダウン歩き安い、紅葉も慰めです。古里駅と川井駅の分岐で左のズマト山へ、最初のピーク721

mからしばらくで、690.2mズマド山はカズマボコ板大の標識が、木にぶら下がってます。古里駅への下り?-ト



は昭文社の地図も迷い注意あり。透明ビニールテープが木に巻き付いていますが、踏み後が廃道になっています。かなりの急登、樹林帯の暗い中危険。日が暮れる前に下山した方が良い。皆さん了承でしっかりした?

-トのある川井駅に下山。急登を下ると車道を左に階段を登り、川井駅です。ほぼ休みなし、ヘッドランプに駅に降りることができました。風もさわやか、紅葉のも愛で長い山行に協力ありがとうございました。

また、やりましょう。

(記・瀧澤きよの)
(写真提供・伊藤 久雄)